

安全データシート

作成日:2021年1月19日

1. 化学品 及び会社情報	製品名/化学品の名称 : パイオラン TM テープ 標示テープ ストップ H-06-ST 会社名 : ダイヤテックス株式会社 住 所 : 富山県黒部市沓掛2000番地 担当部門 : 品質保証グループ 電話番号 : 0765-52-1732 FAX 番号 : 0765-54-4866 緊急連絡先: 同上								
2. 危険・有害性の 要約	危険性: 通常の手扱いは、危険性はない。 有害性: 高分子量化合物では生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。 環境影響: 特段ないと思われる。 GHS分類: 分類基準に該当しない。								
3. 組成、成分 情報	単一製品・混合物の区別 : 混合物 <table border="1"><tr><td>化学品名 CAS.No</td><td>①ポリエチレン樹脂 9002-88-4</td><td>②アクリル酸エステル共重合体 非開示</td><td>③粘着付与剤樹脂 非開示</td></tr><tr><td>化学品名 CAS.No</td><td>④着色剤 (ホワイト、ブラック) 非開示</td><td></td><td></td></tr></table>	化学品名 CAS.No	①ポリエチレン樹脂 9002-88-4	②アクリル酸エステル共重合体 非開示	③粘着付与剤樹脂 非開示	化学品名 CAS.No	④着色剤 (ホワイト、ブラック) 非開示		
化学品名 CAS.No	①ポリエチレン樹脂 9002-88-4	②アクリル酸エステル共重合体 非開示	③粘着付与剤樹脂 非開示						
化学品名 CAS.No	④着色剤 (ホワイト、ブラック) 非開示								
4. 応急措置	目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗眼する。 取扱い中に粘着剤が 皮膚に付着した場合 : 水または石鹼水で充分洗浄する。もし、皮膚に炎症 を生じたときは、医師の手当てを受ける。 吸入した場合 : 加熱溶解時(焼却時など)に発生する蒸気、ガスを大量に吸入 した場合は、新鮮な空気の場所に移動し、異常が認められる場 合は、医師の手当てを受ける。 飲み込んだ場合 : 大量に飲み込んだ場合は直ちに吐き出させ、異常が認められ る場合は、医師の手当てを受ける。								
5. 火災時の措置	消火方法: 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能であれば、速やかに安全な場所に移動させる。 周囲の設備等に散水して冷却する。 消火作業の際は、適切な保護具を着用する。 消 火 剤: 噴霧水、粉末、炭酸ガス、アルコフォーム、乾燥砂								
6. 漏出時の措置	くずなどは容器に集め廃棄処分する。								

7. 取扱い及び
 保管上の注意
 取扱い:人体、車のボディーなどには直接貼らないこと。
 家具、壁、ガラスなどに貼る場合は、事前に充分試験をして貼ること。
 電気絶縁用には使用しないこと。
 貼る面のホコリ、油分、水分などをよく拭き取ってしっかり押さえ貼りつけること。
 保管:直射日光を避け、涼しい所で保管する。

8. 暴露防止
 及び措置
 管理濃度:管理濃度は規定されていない。
 許容濃度:日本産業衛生学会、ACGIH ではこの物質の許容濃度を設定していない。
 設備対策:特になし。
 保護具:必要に応じて着用する。

9. 物理／

外 観 等:粘着テープ

化学的性質

化学品名	①ポリエチレン樹脂	②アクリル酸エステル共重合体	③粘着付与剤樹脂
融 点	100～145℃	知見なし	知見なし
比 重	0.90～0.95	知見なし	知見なし
溶 融 度	水に不溶	水に不溶	水に不溶
引 火 点	300℃以上	—	—
化学品名	④着色剤 (ホワイト、ブラック)		
融 点	知見なし		
比 重	知見なし		
溶 融 度	水に不溶		
引 火 点	—		

10. 安定性、反応性 安定性:通常取り扱い状態において安定

11. 有害性情報 刺 激 性:皮膚刺激性 物理的な刺激
 眼刺激性 物理的な刺激
 急性毒性:生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない。

12. 環境影響情報 分解性、蓄積性:知見なし

13. 廃棄上の注意 焼却炉で焼却する。または、産業廃棄物処理場に埋め立てる。

14. 輸送上の注意 容器・包装は破損のないことを確かめ、落下、損傷のないよう積込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令 消 防 法:指定可燃物 合成樹脂類

16. その他情報 本データシートは、弊社の持つ知見をもとに充分注意を払って作成しております。しかしながら、この記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性、引用文献の内容・全ての生体影響の網羅を保證するものではありません。

使用におかれましては、適用法令に従うとともにこの安全データシートを参考に、使用に即した取扱い上の注意を検討確立して下さい。